

加古川市立図書館だより

ぶっくガーデン

NO.183 - 2018年1月 -

- 加古川市立中央図書館 ■
加古川市平岡町新在家1224-7
(TEL) 079-425-5200
(FAX) 079-425-6696
- 加古川市立加古川図書館 ■
加古川市加古川岡木村226-1
(TEL) 079-422-3471
(FAX) 079-425-7048

(URL) <https://www.kakogawacity-library.jp>

今年の十二支「イヌ」についての本を読んでみませんか?

人が犬と関わりを持ったのは、1万年以上前か、それ以上前ともいわれます。犬は人が家畜化した最初の動物で、今も私たちのまわりにいます。今年が戌(犬)年、今月は犬に関わる本を集めました。あらためてこの身近な動物について、新しい発見があるかもしれません。

- ・「白い犬とワルツを」 テリー・ケイ 新潮社 933 - ケ
主人公のサムは57年連れ添った妻に先立たれ、自分も病に侵されます。子供たちもサムを気遣い、いろいろと世話をしてくれますが、独りでの生活を選びます。やがて、サムの前に白い犬が現れます。サム以外の前にめったに現れない白い犬とはいったい何だったのでしょうか。
- ・「作家の犬」 [1] 2 平凡社 910.2 - サ
文化人の代表格でもある作家、小説家も猫派がいる一方で当然ですが犬派もいます。それぞれのお気に入りの愛犬について写真を交えて垣間見ることができます。
- ・「犬たちの神話と伝説」 ジェラルド・ハウスマンほか 青土社 645.6 - ハ
67匹の歴史に残る犬たちの伝説秘話、出生の秘密、感動のエピソードなどを収録しています。人間にとって最古で最良の友を知るための疑問に答えてくれる本です。
- ・「犬から見た世界」 アレクサンドラ・ホウイツ 白揚社 489.5 - ホ.
原著名は「Inside of a dog: what dogs see, smell, and know」です。すなわち科学的な観点から犬の内側に入り込み、犬からみた世界がどんなものなのか探求している本です。犬であるということとはどんなことなのか。その豊かな感覚世界が見えてきます。
- ・「犬たちの隠された生活」 エリザベス・M・トーマス 草思社 645.6 - ト
はしがきで「この本は、犬の意識について語ったものである。」と著者は書いています。果して犬にも自意識はあるのでしょうか。でも彼らも何かを考え、行動しているはず。著者は長年の観察で、犬に心理世界が広がっていることを突き止めます。全米ベストセラーの名著。
- ・「イヌに「こころ」はあるのか」 レイモンド・コッピンジャーほか 原書房 489.5 - コ
著者は犬にも心があると結論づけています。しかし、それはわれわれ人間のようなものではないし、遺伝的な条件による行動も多いようです。犬の行動の源泉を探る興味深い一冊です。
- ・「ドン松五郎の生活」 井上 ひさし 新潮社 F - イ
井上ひさしが機知と風刺で犬の立場から人間社会を描いた「我輩は犬である」といえる小説。
- ・「犬の科学」 スティーブン・ブディアンスキー 築地書館 489.5 - ブ
犬についてその行動や性格を基本に人との関わりを考えています。犬は人ではないのに、人は犬を擬人化しがちです。犬を理解し、犬の目線で付き合っていくことは大切なことでしょう。

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日: 午前10時～午後8時 日・祝休日: 午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【中 央】

1月 1日(月)～3日(水)、9日(火)、22日(月)
2月 13日(火)、26日(月)



【加古川】

1月 1日(月)～3日(水)、9日(火)、22日(月)
2月 13日(火)、26日(月)

図書館からのお知らせ

●新年おめでとうございます。

今年も中央図書館、加古川図書館をはじめ、市内の図書館をよろしくお願いいたします。

●子ども読書講演会「絵本作りのアトリエより」(中央図書館)

- 日時 2月18日(日) 午前10時~12時
- 場所 視聴覚室(中央図書館2階) ■講師 小西 英子 氏(絵本作家)
- 対象 幼児・児童の保護者、読み聞かせボランティア、一般市民
- 定員 70人(先着順) ■参加費 無料
- 申込開始日 1月7日(日)午前10時より中央図書館で電話または窓口で受付
※一時保育があります。

●乳幼児と楽しむ絵本とわらべうた講座(加古川図書館)

- 日時 1月29日(月) 午前10時30分~12時
- 場所 加古川図書館 ■講師 伊藤 康子 氏
- 対象 乳幼児の保護者、一般市民
- 定員 20人(先着順) ■参加費 無料
- 申込開始日 1月8日(月)午前10時より加古川図書館で電話または窓口で受付
※一時保育があります。



「十二支の本」… 十二支の動物たちが登場する本です。「戌(イ)」のこともわかりますよ。

- ・「十二支動物誌」 宮地 伝三郎 筑摩書房 (480.4-ミ)
- ・「十二支の動物たち」 五十嵐 謙吉 八坂書房 (480.4-イ)
- ・「干支の動物誌」 阿部 禎 技報堂出版 (480.4-ア)
- ・「十二支読本」 稲田 義行 創元社 (449.3-セ)
- ・「十二支の民俗誌」 佐藤 健一郎ほか 八坂書房 (382.1-サ)
- ・「干支セトラ、etc.」 奥本 大三郎 岩波書店 (914.6-オ)



中央図書館

●親子えほんの会(毎月第1金曜日)

- 日時 1月5日(金)
- ① 10:30~10:45
- ② 11:00~11:30
- 対象 ① 0歳の子どもと保護者
② 1歳から3歳までの子どもと保護者
- 定員 各20組(先着順)

◎場所は、いずれもおはなしのへやです。

●えほんのじかん(毎月第2・4土曜日)

- 日時 1月13日、27日(土)
- 15:00~15:30
- 対象 3歳以上の子ども

●おはなし会(毎月第1・3・5土曜日)

- 日時 1月6日、20日(土)
- 15:00~15:30
- 対象 4歳以上の子ども

加古川図書館

●親子えほんの会(毎月第1土曜日)

- 日時 1月6日(土) 11:00~11:30
- 対象 3歳以下の子どもと保護者

◎場所は、いずれもおはなしのへやです。

●おはなし会(毎月第2・3土曜日)

- 日時 1月13日、20日(土) 11:00~11:30
- 対象 4歳以上の子ども